

さんじょう

市議会 だより

平成 23 年 8 月 16 日発行

創刊号



議会だよりの発刊にあたって

議長 下村喜作

市民の皆様には、日ごろより三条市議会の活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

このたび三条市議会では、市民の皆様への情報提供をより充実するため、『さんじょう市議会だより』を年4回発行することといたしました。この市議会だよりにより、これまで以上に市議会に関心を寄せていただき、議員の活動を身近に感じていただければ幸いです。

今後とも市民本位の市政と開かれた市議会を目指してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



議案日誌	9
9月定例会日程	16
議員表彰	16
常任委員会 審査報告	15
一般質問	8
議案賛否一覧	6
大綱質疑	4
所属委員会名簿	2

もくじ

CONTENTS

経済建設 常任委員会 [定数8人]

【所管部局】

経済部、建設部、農業委員会、水道局

 委員長 もりやま あきら 森山 昭 自由クラブ 貝喰新田 ②	 副委員長 つるまき としき 鶴巻俊樹 新政クラブ 井栗三丁目 ①	 たけいしえいじ 武石栄二 自由クラブ 南中 ③	 あべ ぎんじろう 阿部銀次郎 自由クラブ 上保内丙 ③
 さとうそうじ 佐藤宗司 新政クラブ 上谷地 ③	 ふじたひろふみ 藤田博史 新しい風 北入蔵二丁目 ①	 にしかわしげのり 西川重則 清流 島田三丁目 ③	 にしかわてつし 西川哲司 無所属 笹岡 ③

議会運営委員会 [定数9人]

議会をスムーズに運営するための会期の決定や議会の運営、議事の取り扱いなどを協議

- 熊倉 均 委員長
島田 伸子 副委員長
森山 昭 土田 俊人 鶴巻 俊樹
名古屋 豊 山田 富義 武藤 元美
笹川 信子

議会一口メモ

会派とは

市議会では、各議員の政策などを効果的に市政に反映させるために、同じ主義・主張を持った議員が集まって会派を結成し、活動しています。

三条市議会では、会派の結成には2人以上の所属議員が必要となっています。1人の場合は、無所属ということになります。また、各会派の代表者による各派代表者会議を設置して、議員間のさまざまな調整などを行っています。

特別委員会

生活関連施設調査 [定数13人]

ごみ焼却処理施設及びし尿処理施設建設事業に関する調査・研究

- 佐藤 和雄 委員長
野崎 正志 副委員長
土田 俊人 梶 勉 熊倉 均 阿部銀次郎
鶴巻 俊樹 佐藤 宗司 吉田進一郎 名古屋 豊
岡田 竜一 山田 富義 武藤 元美

小中一貫教育等調査 [定数13人]

小中一貫教育推進事業、小中一体校建設事業及び跡地利用、耐震化に係る学校施設の整備、学校給食における調理場に関する調査・研究

- 西川 重則 委員長
武石 栄二 副委員長
森山 昭 下村 喜作 久住 久俊 島田 伸子
高坂 登志郎 藤田 博史 杉井 旬 横山 一雄
小林 誠 笹川 信子 西川 哲司

総務文教 常任委員会 [定数9人]

【所管部局】

議会事務局、総務部、サービスセンター、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、教育委員会、消防本部、その他

 委員長 つちだとしひと 土田俊人 自由クラブ 福島新田乙 ③	 副委員長 のざきまさし 野崎正志 公明党議員団 新光町 ②	 くまくら ひとし 熊倉 均 自由クラブ 長沢 ③
 しもむら きさく 下村喜作 自由クラブ 田島二丁目 ③	 しまだのぶこ 島田伸子 新政クラブ 島田一丁目 ③	 なごや ゆたか 名古屋 豊 新しい風 西潟 ①
 おかだりゆういち 岡田竜一 新しい風 上保内乙 ①	 やまだとみよし 山田富義 清流 林町二丁目 ①	 むらもとみ 武藤元美 日本共産党議員団 東本成寺 ①



市民福祉 常任委員会 [定数9人]

【所管部局】

市民部、福祉保健部

 委員長 よこやま かずお 横山一雄 清流 麻布 ③	 副委員長 さがわのぶこ 笹川信子 公明党議員団 島田三丁目 ②	 かじ つとむ 梶 勉 自由クラブ 曲淵三丁目 ③
 さとう かずお 佐藤和雄 自由クラブ 泉新田 ③	 くすみひさとし 久住久俊 自由クラブ 塚野目四丁目 ③	 よしだしんいちろう 吉田進一郎 新政クラブ 葎谷 ③
 こうさかとしろう 高坂登志郎 新政クラブ 東三条一丁目 ③	 すぎ ひとし 杉井 旬 新しい風 鶴田一丁目 ②	 こばやし まこと 小林 誠 日本共産党議員団 島潟 ③

凡例

	ふりがな 氏名
	所属会派 住所 期数*

※期数は新市からの期数

よりよい三条市をつくるため議論しています。



健康診査の様子

【答】

大腸がん検診推進事業は継続することで成果が期待できる。国の動きに注視していきたい。

【問】

健康診査費の大腸がん検診推進事業は国の単年度助成事業だが、今後国の助成がなくなっても三条市独自で続けていくのか。

【答】

年間1・2%の削減。金額では13万4000円程度の低減効果が見込まれる。

【問】

庁舎管理費のLEDランプ取り替えで、どのくらいの節電効果を見込んでいるか。

【歳入／2款総務費について】

【10款教育費について】

6月定例会
(平成23年 第3回)

一般会計補正予算など全議案可決

～小中学校間交流活動バス購入、漢学の里駐車場拡張予算ほか～

6月定例会は、6月13日から28日までの16日間にわたって開かれました。

本定例会では、市長提出議案として「平成23年度一般会計補正予算」など10件が上程され、「平成23年度一般会計補正予算」については小中学校間交流活動バス購入に係る経費に反対討論があり、採決した結果、賛成多数により原案どおり可決し、残る9件は全員異議なく原案どおり可決、同意または承認しました。

また、「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願」を採択し、議員発案として提出された「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書」を可決し、内閣総理大臣や国の関係行政機関に対して意見書を提出しました。

6月定例会

大綱質疑

大綱質疑とは、提出された議案について、詳細な審査を行う委員会に付託する前に、大まかに質疑を行うものです。この大綱質疑は会派の代表制で行っており、今回は新政クラブと日本共産党議員団が行いました。

■議第5号

高機能消防指令システム
設備改修工事
請負契約の締結について

【問】

この改修工事により、現行設備と比べてどこが「高機能」になるのか。新しいシステムはどの程度の使用期間を想定しているのか。

【答】

現在のシステムが19年経過し、保守部材の枯渇による保守困難のため最新システムに改修する。基本構成は大きく変わらないが、機能を大幅に強化し、全国的なデジタル化にも対応できる設備になる。耐用年数は10年から15年。

■議第6号

平成23年度
三条市一般会計補正予算
〔歳入／17款寄附金について〕

【問】

一般会計に入れない義援金はいくらか。また、現金での保管は誰の責任で管理しているのか。現在被災者支援に充てている義援金について、今後国から手当があった場合、どのように処理するのか。

【答】

6月10日現在での義援金は8152万3679円、そのうち歳入に入れない義援金は3168万6174円、これは会計課長が管理している。義援金は三条市が頂いたもので、余った場合は一般会計に入れる。



現在運行中のスクールバス

■報第1号 専決処分報告
(平成23年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算)

【問】

繰り上げ充用金の7531万7000円は、平成22年度の決算における赤字分であるが、今年度の国保税の値上げの根拠としていた「赤字見込み1億8000万円」と大きな開きがあるのはなぜか。

【答】

医療費の実績額が見込みよりも減少したこと、収納率の向上などで歳入が増えたこと、国の交付金が増額となったことにより、赤字額が減少した。

インターネットで市議会の生中継・録画放送をご覧いただけます



三条市議会では、平成23年6月から本会議のインターネット生中継を開始しました。

インターネットに接続できる環境とパソコンがあれば、本会議の様子がだれでも見ることができますので、ぜひ、ご覧ください。なお、仕事で生中継を見ることができないという方は、録画中継を見することもできますので、そちらをご覧ください。(録画中継は、原則本会議終了後おおむね5日程度で視聴可能になります。)

三条市ホームページ (<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>)

(P6からの続き↓)

Table with columns for '議員発案' (Member Proposal) and '請願' (Petition). Rows include '議員発案第1号' (30人以下学級実現...), '請願第7号' (高齢者の生活実態に見合う年金引上げ...), '請願第8号' (後期高齢者医療制度の廃止...), '請願第9号' (最低保障年金制度の制定...), and '請願第17号' (30人以下学級実現...).

会派所属議員

○:会派の代表者

Table listing members by party: 自由クラブ (久住久俊, 下村喜作, 佐藤和雄, 阿部銀次郎, 熊倉均, 武石栄二, 梶勉, 土田俊人, 森山昭), 新政クラブ (高坂登志郎, 吉田進一郎, 佐藤宗司, 島田伸子, 鶴巻俊樹), 新しい風 (杉井旬, 岡田竜一, 藤田博史, 名古屋豊), 清流 (西川重則, 横山一雄, 山田富義), 日本共産党議員団 (小林誠, 武藤元美), 公明党議員団 (野崎正志, 笹川信子), 無所属 (西川哲司).

討論

日本共産党議員団

議第6号 平成23年度三条市一般会計補正予算、10款教育費のスクールバス購入費について、次の理由で反対する。

子どもたちの安全・安心な通学を確保するためのスクールバス運行について反対するものではないが、教育委員会は今回のバス購入で20台のバスを保有することになり、市内大手の観光会社に匹敵する規模になる。

委員会審査では、使用目的を「一体校にも使う」「小中連携で登下校に使わない」など、答弁が二転三転。一体校問題では、3月定例会で地元の合意を得るようとの請願が全会一致で採択されているが、まだこれにも応えていない。先を見越しての購入の必要はない。

議会一口メモ

表決(採決)と議決とは

表決は、議会の意思決定に個々の議員が参加するための手段で、議案などに対して賛成、反対の意思表示をすることをいいます。

議決は、表決の結果得られた議会の意思決定のことをいいます。

継続審査とは

委員会に付託された事件について、定例会や臨時会の会期中に審査結果を得ることができなかったため、議会の議決を得て、閉会中も引き続き審査を行うことをいいます。

専決処分とは

議会が議決をすべき事件について、法律などで定められたものに限り、議会を開かずに市長が議会に代わって決定することをいいます。

議案賛否一覧表

6月定例会 (平成23年第3回 6月13日~28日)

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

Main table for '議案賛否一覧表' with columns for '議案' (Proposal), '会派名' (Party Name), and '議決結果' (Decision Result). Rows include '人事' (Personnel), '条例' (Ordinance), 'その他' (Others), '予算' (Budget), and '専決処分' (Special Disposal).

(P7に続く↓)

※鶴巻俊樹議員欠席

一般質問

『市政を問う』

東日本大震災による
三条市の影響について

問 東日本大震災では、直接的被害や影響だけでなく、日本全国のさまざまな方面にも間接的な被害や影響を与えている。平成23年度予算で回復基調を見込んだ市民税にも影響が出るのではないかと。この震災による三条市及び企業や市民生活にどのような影響があるのか。

答 自動車関連の製造、加工業等への影響は見込まれる。他方で災害関連需要もあり、リーマンショックに伴う悪影響と比較した場合、トータルで考えたときに余り大きな影響はないと見込んでいます。個々の企業を捉えた場合、売掛金の回収延滞等による影響もあり、東日本大震災緊急対策資金を創設し対応している。福島第1原子力発電所の事故の収束、計画停電は変動的要素として注視していく。

三条市の長期展望について

問 国土の長期展望の中間とりまとめが発表され、日本の総人口が2050年には25.5%減少し、全国の66.4%の地点で現在より

も半減し、そのうち2割超は無人生活してしまうとの予測が発表された。国のさまざまなデータを活用し、長期計画を策定すべきではないか。

答 三条市のみが人口減少の潮流から逃れることは現実的ではない。現在の政策を着実に実行していく。

道路の維持管理について

問 市民からの道路補修に関する要望の現状はどうか。

答 経年劣化という中で、要望は年々増加している。厳しい財政状況の中、効果的な維持修繕に努めていく。

問 補修場所の決定は、どのような判断基準によるのか。

答 道路パトロールや自治会からの要望、市民からの情報提供を受け現地確認し、通行上の安全確保から危険度の高いところを優先している。

学校現場における
非構造部材に対する対策

問 学校現場において地震に備えた非構造部材の点検、対策はどの

ようになっているか。

答 定期的な点検など、箇所に応じて具体的に防止対策を行っている。今後も文部科学省の耐震化ガイドブックを活用し、専門的判断が必要な場合は建築課等と連携し対応していく。

第一中学校区の各小中学校
跡地等の利用計画

問 第一中学校区内の各学校の跡地及び施設の利用計画はどのようなになっているか。

答 条南小は防災の観点から調整池の機能を持たせた公園等に、四日町小は第一中学校区小中一体校のサブグラウンド及び臨時駐車場



条南小学校の現風景

うことで了承されたものである。

東日本大震災の影響はどうなる

問 地震、津波、原発事故、この3つの震災は日本だけでなく、世界中に自然災害の怖さを教えた。東北地方の産業だけでなく、原発事故に伴う影響は、放射能汚染による風評被害を含め全国各地に及んでいる。国の予算編成も災害復旧が中心になると考えられる中、三条市でも多くの公共事業が行われており、三条市の財政にも直接的、間接的に影響があると思うが、どう見ているのか。

答 市内経済の景気は依然厳しい状況にあるが、現段階での影響はリーマンショック時よりは少ない。自動車関連はマイナス、災害関連はプラスで、その差は小さく、大きな影響はない。

栄スマートインターチェンジ
へのアクセス路

問 栄スマートインターチェンジの工事も着々と進んでおり、地域の関心も高く、一日も早い供用開始を待っている。下田地区からのアクセス路については、慢性化している第2産業道路の渋滞の緩和、三条市環状線としての機能等、利便性を考え早急に整備すべきで



工事が進む栄スマートインターチェンジ

大地震に対する備えは

問 三条地震から183年。この地震は火災や山崩れ、液状化があったとされるが、地震に対する備えは大丈夫か。

答 三条市震災対応マニュアル等各種計画について不断の見直しが大切である。

ないか。

答 従前よりこの間の整備については(仮称)県東南部線構想として促進協議会を結成し、検討を行ってきた経緯がある。設置主体は、県で取り組むように要請していきたい。

観光対策について

問 通称ハナミズキ街道の樹木が年々弱っていく中で抜本的な対策が求められているがどうか。

答 土壌改良や植え替えで対応する。



枯れ木の目立つ通称ハナミズキ街道

一中学区一校問題について

問 県教育長の助言を受け入れるべきではないか。また、県は小中一貫教育を推進しているのか。

答 県教育長は感想を言っただけで、ジャッジしたのではないと理解している。県が推進するのは小中連携だから一貫教育と同じである。

柏崎・刈羽原発について

柏崎・刈羽原発で福島第1原



三条市地域防災計画

問 東日本大震災は国内観測史上最大の巨大地震で、東北地方から関東地方にかけて広域にわたり甚大な一次的被害と、日本全国及び世界に経済的な二次的被害をもたらした。地震、津波、原発、風評被害と大きな被害をもたらしている。人間の想定をはるかに超える自然災害が実際に起こった中、地域防災計画の見直しの考えはあるのか、また、想定外の災害にどのように備えるのか。

答 現行の地域防災計画や各種マニュアルが万全な状態とは考えていない。不断の見直しが必要であり、今実施しているものを上回るものになる。いつの世の中にも想定外は存在することを常に持っていることが大切である。

防災対策について



注目される太陽光発電パネル

問 木造耐震補助制度とリフォーム助成制度を

問 木造住宅耐震改修補助事業が創設されたが、耐震基準をクリアするためには建築費が多額になりハードルが高い。そこで住宅リフォーム制度創設で部分補強も可能とすることが必要ではないか。国は財源として社会資本整備総合交付金が使えらるとしており、県内でもすでに16市町村が取り組んでいる。三条市でも取り組む考えはないか。

答 住宅リフォーム助成は個人資産への助成であることから、現在のところ考えていない。

再生可能エネルギー推進を

問 全国的な電力不足は一過性のものでなく、再生可能エネルギーへの転換が求められている。

木造耐震補助制度とリフォーム助成制度を

再生可能エネルギー推進を

問 災害に備えた被災者を支援するシステムは必要である。三条市では被災者名簿、被災家屋台帳、義援金台帳などの機能を持つシステムを保有している。システムの比較検討をして協議しているが、利用については見合せている。



被災者交流ルーム(総合福祉センター内)

問 被災者支援システムを平時に導入し、構築していくことは重要である。被災者の情報を一元的に管理する被災者台帳の必要性への認識は高まっている。住民の命と財産を守るため必要であるが、見解はどうか。

被災者支援システムの導入・活用は

問 市民への防災意識の啓発について

答 市単独でやると混乱が生じる。近隣市町村と連携をとっていく。

問 地域防災計画に原発対策を盛り込んでどうか。

答 手間をかけず早く情報を知らせることが大事。今後、マンパワ、効果等を検討していく。

問 貸与世帯の拡大は考えていない。

答 スーパーや病院などと連携をとり、緊急情報の館内放送など協力依頼をしてはどうか。

問 防災行政無線で災害などの情報を知らせるが、場所や天候により聞こえない状況がある。現在高齢者世帯等に貸与している緊急告知FMラジオを同居家族の有無を問わず高齢者全世帯に貸与してはどうか。

問 災害に強いまちづくりを進めるために

問 震災の教訓を受け、より一層の啓発に取り組みたい。

答 第一中学校区小中一体校建設で大規模な災害が起きたときの対策はどうなっているのか。

問 避難経路を想定した設計であり、避難訓練の確実な実施をする。

問 原発に頼らない代替エネルギーへの転換を

問 原発に変わる代替エネルギーを作る技術の模索を地域経済の振興にからめて始めてはどうか。

問 次世代産業創造プロジェクトを実施して取り組んでいる。

問 須頃郷の再開発について

問 これからの土地利用や農業をどう進めるのか。救命救急センターや併設病院は須頃郷以外になり。用地確保のため区画整理事業によって再開発を図るべきである。民間主導の区画整理事業が計画されているが、農振除外の見通しはあるのか。

問 病床数500床を基本としながら、具体のこれから先の作業については県に一任ということでの共通認識を得たところである。優良農地として農振地域に指定されていることからの、開発を抑制すべき地域と考えている。

問 東日本大震災を受けての原発政策について

問 ①原発政策の市長の見解はどうか。②柏崎・刈羽原発の対策は十分か。③放射能汚染から市民をどう守るのか。

問 ①エネルギー政策は知見者が議論すべきである。②柏崎・刈羽原発に対しては国、県、近隣市町村との連携を進める。③学校・保育所等の給食食材は十分な安全性が確保されている。プールの放射能測定はしない。学校建設資材のセメント等は納入元に汚染状況の再確認をする。



節電のため休止するエレベーター

問 ピークカット15%削減のための三条市の取り組みはどうか。企業の休日シフトに伴う保育所要望への対応と節電への動機付けとして

節電対策について

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 小中一貫教育の問題について

問 小中一貫教育の問題を考えると教育委員会との話し合いの場を求めているが、開催の予定は。

問 中止・見直し・白紙撤回の主張は受け入れられない。話し合いの場を設定しても推進に当たっての助言・要望など共通のテーマが必要である。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。

問 東日本大震災、長野北部震災と震度6以上の地震が相次いだ。総面積430平方キロを有する三条市には危険箇所も数多くあるが、河川の点検や地滑り地帯の安全確認はどのように行われたのか。



須頃郷の現風景

問 毎年5月末をめどに危険箇所
の巡視を行っている。河川堤防の
状況は水防監視員により随時巡回
している。堤防、地すべり地域を
パトロールした結果、被害はな
かった。今までも急傾斜地など
対策工事を行っており、今後も危
険度の高いところから対応する。
県の土砂災害防止法に基づき、対
象区域住民への情報提供と避難体
制の整備を行っている。

消防団の今後の対応は

問 災害時に出勤し、市民の安全・
安心を守る消防団は、人員不足に
より再編成が進んでいるのが現状
であるが、今後の対応はどうか。

答 昨年12月に3つの消防団を一
消防団体制とした。1346人の
定員中、実員は1302人で、団
員確保は全国的な問題であり、団
員確保に努力する。

女性消防団の増班を

問 震災では後方支援の必要性が
指摘された。ソフト面での被災者
への気配り、目配りが重要となる
中、女性の視点からも女性消防団
を1班増設してはどうか。

答 女性消防団の増班が可能かど
うか検討する。

答 私自身これまで契約書そのも
のがあるかないかというようなこ
とを直接的に言及した覚えはな
い。契約書がないという前提で発
言されていることは十分理解して
いるが、私自身それに対してどう
こう言うような課題でもないと思
っていたので、あえて申し上げて
いない。

問 今訴訟があり、証拠書面を出せ
という状況で、実際のありようの
姿を提出しなければならぬので
提出した。第四銀行との間で土地
売買に関する覚書は存在してい
る。株主総会であったかもうそをつ
いたかのような指摘があったが、
一般論として必ずしも紙ベースで
契約が成立するものではない、第
四銀行の上層部の方々と直接面談
で確認したことを言った。紙であ
ろうがなかろうが、それ自体が契



パルム1跡地

問 三条地区の除雪も栄・下田地
区と同様に委託業者の判断として
はどうか。

答 業者の自主判断は、早い対応
が可能という反面、各業者の判断
がまちまちになるおそれもある。
これらの問題を解決した上で、今
後委託業者と調整を図りながら、
三条地区においても同様な取り組
みができないか検証していきたい。

ボランティア制度について

問 自治会や老人会を中心とした
有料による災害・除雪ボランティ
ア制度を考えてはどうか。

答 除雪ボランティアには健幸マ
イレージ制度のポイントが付与さ
れる状況ではないが、ボランティア
が自らの健康にもつながり、多
くの方々の幸せとなって還元して
いくので、今後健幸マイレージ制
度とのリンクについて積極的に検
討を進めていきたい。

地域保全型入札制度について

問 地域の維持管理等に協力して
いる企業を地域貢献企業として認
定し、優先的に指名する地域保全
型入札制度を実施してはどうか。

答 地元企業の優先、育成には十
分意を用いている。災害時や降雪
時には建設業者の方から協力的

約だということを行った。紙が存
在していないということを行った
覚えは全くない。

**都市計画道路の進捗と
今後の予定は**

問 現在41路線中7路線が未着
手。まずは新保裏館線と国道8号
拡幅の完成を急ぐべき。

答 市の事業については、選択と集
中で整備を進める。国県の事業は
事あるごとに要望していく。

**通称第2産業道路の
渋滞解消について**

問 信号制御に問題はないか。

答 交通量の増加が問題であり、
信号制御による渋滞緩和には限界
がある。
問 混雑の少ない第1産業道路へ
の誘導を促す流量反応型案内表示
板の設置はできないか。また、両
道路分岐点である東三条と石土地
内交差点を常時左折可能交差点に
できないか。

答 管理者である県に対して要望
する。

東三条地区の往来困難について

問 東三条駅南口と正面口へ往来で
きる自由通路を設置してはどうか。

答 駅前道路・広場等の整備と合

だいていることは十分承知している
ので、なお一層入札執行において
地元企業への優先といったことを
旨として事業執行していきたい。

**東日本大震災による
避難者受け入れについて**

問 三条市の示す「1人残らず生
活再建できるまで全力で支援す
る」とは具体的に何を指すか。

答 福島県内に仮設住宅が確保さ
れ、第2の中期的な避難生活を築
き上げていく、そこに送り出すま
でが私たちが全力で支援する時期。

**旧まるよし本店跡地への
スーパー出店について**

問 あいでんが出店する来春以
降、中央商店街運営の補助金事業



コンパクトストアまごころ

わせ必要だと認識するが、新都市
計画のイメージがまだであり、現
時点での早期着工は難しい。

問 市道東三条北入蔵線の歩行者
安全確保のために、東三条陸橋西
側丁字路を交差点化し市道大立線
と接続し、北入蔵方面への車の流
れを変えられないか。

答 以前にも検討したことはある
が、地権者から協力が得られなかつ
た。また、東三条北入蔵線の拡幅
も多額の事業費となるため難しい。

腎不全の予防に向けて

問 腎不全は人工透析で生きるこ
とができるようになった。腎不全
の予防に向けてどのような取り組
まれるのか。

答 糖尿病の予防が重要。糖尿病
予防キャンペーンで簡易な血糖検
査を実施し、健診の受診行動への
誘発を図る。受けやすい健診スタ
イルとして半日ミニドックを実施
し、受診率の向上とともに、保健
指導の利用率を図りたい。

避難者の健診について

問 福島県から避難された方が健
康で故郷に戻れるように、健診を
受けられるようにできないか。

答 制度上困難性が高い課題であ
り、全国市長会でも国に要望して

「コンパクトストアまごころ」は
今後どうなるか。

答 三条小学校区の高齢化率42.8%
を考慮しても徒歩圏内に、ある程度
充実した機能の生活基盤があるこ
とが望ましく、今回の出店は大変
ありがたい。できる限りの支援を
していきたい。「まごころ」の今後
については商店街からアイデアを
伺っている。現時点で閉店の可能
性は全くない。

**子育て中の母親に対する
就労支援について**

問 保育所(園)に子どもを預ける母
親のうち、今年3月時点で504名
が求職中。雇用対策協議会の活用な
ど市は早急に対策に取り組むべき。

答 助成制度の平たい周知だけで
なく、市がもう少し積極的に関与
していかなければならない。雇用
対策協議会活用については関係部
局とも調整し、ピンポイントの支
援もしていきたい。

パルム関係について

問 地元紙の報道で、「株主総会
でパルム1跡地の契約について、
第四銀行との契約はあうんの呼吸
で口約束、契約書類がないと言っ
た」との報道は事実なのか。

いる。現在、新潟県と福島県とで
協議中である。

大崎山公園の整備について

問 大崎山公園を整備して桜の名
所、山歩きなど市民の憩いの場
にしてはどうか。案内看板の記載内
容は、事実と合っていないのでは
ないか。

答 入口の案内板は今年度修繕す
る。指摘箇所について指定管理者
と話し合い改善したい。桜の花は
ウソの被害、危険な状態の樹木に
ついてはパトロールして対応して
いきたい。



今後修繕される大崎山公園案内板

東日本大震災の教訓について

問 ①東日本大震災で住民基本台帳から課税台帳、契約書などまで、すべての書類をなくした市町村がある。三条市も行政データのバックアップセンターを設置すべきだ。②被災者や職員、ボランティアの証言などを集め、追体験できる記録が必要ではないか。

答 ①県内市町村に呼びかけ、情報システム最適化研究会を設けており、クラウド化を目指している。実現すればデータのバックアップ機能も有することになる。②避難所の日記やアンケート、聞き取りなどをまとめていく。適切な記録として残していきたい。

修学旅行の見直しを

問 修学旅行は小学校が佐渡、中学校は関西方面だが、学校によって費用や内容に差がある。各校別々に契約しているが、10人ほどで契約するより一学年約1000人分を一括契約した方が費用も安くなるし、内容も充実するのではないか。

高校にも給食を

問 小中学校の給食で地産地消の効果が出ているのなら、食育や農

業振興などのため県内の高校にも給食を広げるべきではないか。

防災対策について

問 災害対応マニュアルとは別に「事業継続計画」が必要ではないか。特に本庁舎が壊滅的被害を受けた時に事業継続するための行動計画を策定すべきだ。

答 三条市は平成21年に新型インフルエンザ発生時の業務継続計画を策定したが、庁舎が被災した場合を想定していない。今後、災害の種類を問わない業務継続計画を検討していく。

熱中症対策について

問 電力供給が逼迫する中で、熱中症対策をどうやって市民に啓発していくのか。

答 節電により冷房を控えることでの熱中症が懸念されることから、市のホームページ・広報紙・



熱中症を注意喚起するのぼり

公共施設へのチラシやポスター等により注意喚起を行っていく。

学校の統廃合について

問 第一中学校区小中一体校の建設は形を変えた小学校の統廃合であると思うが、三条市教育委員会としての学校統廃合の基準はあるのか。

答 学校の建て替えと統合計画については、平成20年にまとまった教育制度等検討委員会の最終報告の提言を基本に、平成21年の耐震診断を踏まえた施設整備方針に基づいて進めている。

県央地域救命救急センターについて

問 このセンターの設置は、具体的にいつごろになるのか。

答 一日も早く救命救急センター併設の基幹病院建設が実現に至るまで努力する。

問 魚沼基幹病院の場合、構想から完成までおおむね15年ほどかかる。そうすると、県央地域は平成31年以降になるのでは。

答 現時点で具体的に答えるだけの材料は持ち合わせていない。

問 完成までの空白を埋める手立てがないと、このまま多くの不安や犠牲を強いることになるのでは。

常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

土田俊人委員長

当委員会に付託された議案の審査概要は、議第5号高機能消防指令システム設備改修工事請負契約の締結については、もしもの際には非常電源があり、何らかの故障に対しては非常通話装置もあるとのことでした。また、平成28年の消防救急無線のデジタル化に対応できるものとのことでした。

議第6号平成23年度三条市一般会計補正予算では、子育てポータルサイトの管理状況については関係機関と連携し、より充実したサイトとなるよう情報の更新を含め委託先の管理などを徹底していきたいとのことでした。また、スクールバスの運行について、購入するバスは小中学校交流活動、一部の学校の



登下校、部活動の課外活動などに使用し、現段階では第一中学校区小中一体校が建設され、開校の際、この一体校の登下校に使う予定はないとのことでした。質疑の後、議第6号平成23年度三条市一般会計補正

市民福祉常任委員会

横山一雄委員長

当委員会に付託された議案の審査概要は、議第6号平成23年度三条市一般会計補正予算では、総合福祉センター害虫駆除委託料は、大広間とステージ床下に羽アリの発生が確認されたため予防することとなったとのことでした。また、親子収穫体験事業委託料の事業内容については、果樹とサツマイモの収穫体験を2回予定しており、図書館指定管理料の事業に対する市の関与等については、本の選定や購入は指定管理者が行い、市はチェックや選定のアドバイスをしていくとのことでした。



報第1号専決処分報告の平成23年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算では、繰上充用金の減少要因と今後の国保運営については、医療給付費の減少、国保税の賦課額の

増加と収納率の向上、国の財政調整交付金等の増加が挙げられる、今後は国保財政の安定運営、特々調交付の獲得、収納率の向上等に努めるとともに、実績の検証結果やプロジェクトチーム等の検討状況などについて報告していくとのことでした。

経済建設常任委員会

森山 昭委員長

当委員会に付託された議案の審査概要は、議第6号平成23年度三条市一般会計補正予算では、まちづくり推進費のコミュニティ助成事業に申請した自治会は6団体で、採択された自治会は5団体である。審査は財団法人自治総合センターが行っており、具体的な審査方法は公表されていないとのことでした。



また、農林水産業費の経営体育成支援事業補助金の補助対象は、経営規模の拡大を目指しているものなどが対象と考えているとのことでした。



議会日誌

〔4月〕

7日 北信越市議会議長会定期総会
13日 議会運営委員会 (長野市)

〔5月〕

10日 北信越市議会議長会表彰状
伝達式

17日 議会運営委員会
24日 第2回臨時会
各派代表者会議

25日 新潟県特別豪雪地帯市町村
議会協議会 (十日町市)

30日 上越新幹線活性化同盟会総会
(新潟市)

〔6月〕

2日 議会報編集委員会
各派代表者会議

6日 議会運営委員会
総務文教常任委員協議会

10日 議会運営委員会
議会報編集委員会

13日 本会議「提案説明」
14日 本会議「大綱質疑～委員会付託
一般質問」

15日 全国市議会議長会定期総会
(東京都)

16日 本会議「一般質問」
17日 本会議「一般質問」

20日 本会議「一般質問」
21日 市民福祉常任委員会

22日 経済建設常任委員会
23日 総務文教常任委員会

27日 総務文教常任委員協議会
議会運営委員会

28日 本会議「委員長報告～採決」
議会運営委員会

29日 兵庫県姫路市議会視察来条

9月定例会日程

- 5日(月) 本会議 提案説明
- 7日(水) 本会議 大綱質疑～委員会付託、一般質問
- 8日(木) } 本会議 一般質問
- 9日(金) }
- 12日(月) }
- 13日(火) 市民福祉常任委員会
- 14日(水) 経済建設常任委員会
- 15日(木) 総務文教常任委員会
- 20日(火) }
- 21日(水) } 決算審査特別委員会
- 22日(木) }
- 26日(月) }
- 28日(水) 本会議 委員長報告、討論、採決

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽力された功績により、次の議員が議員在職20年以上の特別表彰をされました。

議員表彰



西川重則さん

久住久俊さん

編 / 集 / 後 / 記



議会報編集委員一同

このたび、多くの皆様のご協力により「さんじょう市議会だより」創刊号を発行できましたこと、心よりお礼申し上げます。

「さんじょう市議会だより」は、市民の皆様にも本会議や委員会などの状況を総括的にお知らせし、議会や市政に対する関心を高めていただくことを目的としています。

この編集に当たっては議会内に議会報編集委員会を設け、わかりやすい広報紙を目指して編集を行ってまいりますので、ご意見、ご感想をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【議会報編集委員会】

委員長 梶 勉
副委員長 島田伸子
岡田竜一 山田富義
小林 誠 笹川信子
西川哲司

発行 三条市議会
編集 議会報編集委員会
責任者 議長 下村喜作

三条市議会事務局
電話:0256-34-5511(代) 内線 347
Fax:0256-33-8861(直通)
<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>
E-mail gikaij@city.sanjo.niigata.jp